

令和3年5月12日

生徒及び保護者の皆さんへ

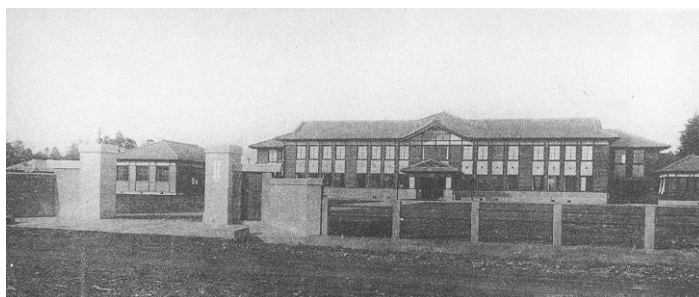
聖和学園高等学校  
校長 庄子 英利

### 創立記念日に寄せて

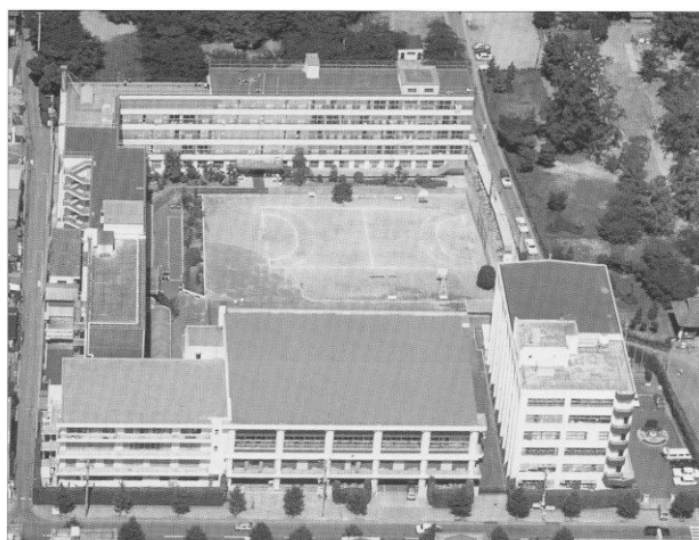
5月12日は本校の創立記念日です。今年は91回目となります。昨年の創立90周年記念式典はコロナ禍のため、残念ながら中止となりましたが、創立100周年では、同窓生の皆さんとともに是非ともお祝いしたいと思います。

本校の開校に至る経緯を改めて振り返ってみましょう。昭和4年(1929年)、当時、宗門宗派を超えて宮城県仏教会が設立されました。その目的の一つには、仏教主義による高等女学校の設立がありました。吉田つぎ女史から学校設立のための寄付があり、この篤志を基金とし、伊澤平左衛門氏を設立者とする、吉田高等女学校が創立されました。昭和5年4月8日、当時の東三番丁にあった東本願寺別院内に仮校舎を設け開校式が行われ、108名が入学しました。同年5月12日には木ノ下の地で新校舎の地鎮祭が行われ、以後、この日を創立記念日としてきました。

**右上の写真**は、当時の木造の本校舎です。昭和53年の宮城県沖地震により被災し、校舎は取り壊されました。



**右下の写真**は、昭和37年～55年に順次建てられた鉄筋コンクリートの校舎ですが、この校舎も老朽化が進んだため、平成15年、現在の地に新校舎(薬師堂キャンパス)が建設されました。同時に、三神峯キャンパスを太白区土手内に設置して、男女共学の新たな聖和学園高等学校がスタートしました。



本校卒業生は、約四万名を数え、同窓生の皆さんは、級友や先輩、後輩、そして先生方とともに高校生活の苦楽を経験する中で、社会性や協調性、思いやりの心の大切さをしっかりと身につけてきました。今も同窓生は大変強く深い絆で結ばれています。

5月12日は本校の誕生日ともいうべき大切な日です。生徒の皆さんには、90年を超える歴史を刻んできた輝かしい伝統に思いを寄せ、聖和学園高校の生徒であることの自覚と誇りを持ち、高校生活に取り組んでほしいと思います。